



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場会社名 東海カーボン株式会社  
コード番号 5301 URL <http://www.tokaicarbon.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 能成

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部長 (氏名) 松原 和彦

TEL 03-3746-5100

四半期報告書提出予定日 平成26年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	84,713	12.9	2,457	82.7	2,656	5.0	1,627	24.0
25年12月期第3四半期	75,029	△1.1	1,345	△75.3	2,530	△55.2	1,312	△61.6

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 3,284百万円 (△64.4%) 25年12月期第3四半期 9,212百万円 (125.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	7.62	—
25年12月期第3四半期	6.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	202,684	125,170	60.7
25年12月期	183,427	123,232	66.0

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 123,026百万円 25年12月期 121,101百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年12月期	—	3.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,000	12.0	3,000	81.2	3,000	△3.7	1,800	48.4	8.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1社 (社名) Cancarb Limited 、除外 1社 (社名)  
(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご参照下さい。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	224,943,104 株	25年12月期	224,943,104 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	11,456,285 株	25年12月期	11,432,175 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	213,501,179 株	25年12月期3Q	213,538,867 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

- ※ 当社は、下記のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページ上に掲載する予定です。
- ・平成26年11月12日（水）・・・・アナリスト向け説明会

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日）における世界経済は、民間需要を中心に米国経済は緩やかな拡大が続きましたが、欧州景気の下押し懸念や、中国および新興国における成長率減速への警戒感は払拭されず、ウクライナ問題、中東問題などの不安要素も拡大しました。また、わが国経済は、消費税率引上げの影響により一旦弱含みましたが、各種経済政策を背景に緩やかな回復基調が続きました。

このような状況のなか、当社グループの対面業界であるゴム製品、鉄鋼、半導体、情報技術関連、産業機械などの各業界におきましては、自動車関連分野では堅調な回復基調が続き、その他の分野でも引き続き緩やかな回復傾向が見られました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期比12.9%増の847億1千3百万円となりました。損益面におきましては、カーボンブラック事業の国内外市場への安価な中国製品の流入や黒鉛電極の価格低迷等の影響を受けましたが、連結子会社となったCancarb Limitedの業績寄与や、コスト低減を引き続き推し進めたこと等により、営業利益は前年同期比82.7%増の24億5千7百万円となりました。経常利益は前年同期比5.0%増の26億5千6百万円となり、四半期純利益は前年同期比24.0%増の16億2千7百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## [カーボンブラック事業部門]

国内においては、対面業界である自動車およびタイヤ産業で消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が夏ごろから出始めたものの、カーボンブラック需要は概ね堅調に推移しました。日本およびタイ市場への安価な中国製品の流入は依然として続きましたが、北米を中心とした緩やかな景気回復を受け、販売数量は前年同期比増となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比22.0%増の403億2千8百万円となり、営業利益は4月に買収したCancarb Limitedの業績寄与もあり前年同期比50.8%増の22億5千7百万円となりました。

## [炭素・セラミックス事業部門]

## 黒鉛電極

世界粗鋼生産は前年同期を上回る水準で推移し、対面業界である電炉鋼の生産においても同様に推移しました。黒鉛電極の需要は、北米、欧州、日本においては前年同期を上回る水準で推移しました。しかしアジアにおいては、鉄鋼需要の落ち込みや、供給過剰が続く中国からの鋼材流入の影響等を受け黒鉛電極需要が低迷したことから、販売数量は前年同期並みとなりました。販売価格については、国内外とも弱含みで推移しました。この結果、円安効果は受けましたものの、黒鉛電極の売上高は前年同期比0.6%減の224億5千3百万円となりました。

## ファインカーボン

一般的に市況の回復や顧客の在庫調整が終ったこと等により、需要は引き続き回復基調で推移しました。地域別では、米国は、半導体用やポリシリコン向けの需要増に加え、一般産業用も堅調に推移し、一般産業用が主力の欧州も堅調さを維持しました。アジアでは、韓国は半導体用やLED用が概ね好調であり、中国は需要回復が見られる太陽電池用をはじめ、一般産業用やLED用も堅調に推移しました。この結果、円安効果も受け、ファインカーボンの売上高は前年同期比15.0%増の106億1千5百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は、ファインカーボンの増収により前年同期比3.9%増の330億6千9百万円となりましたが、営業利益は、コスト低減やエネルギー原単位改善努力を推進し、円安効果も受けましたものの、黒鉛電極の価格低迷等の影響により、前年同期比14.9%減の5億1千3百万円となりました。

## [工業炉および関連製品事業部門]

主要な需要先である情報技術関連業界では、一部に回復の兆しが見られ主力製品である工業炉の売上高は前年同期比増となりました。また、発熱体その他製品の売上高も、中国市場の需要が回復したことや、国内においても、ガラス関連業界の需要は低調であったものの電子部品業界の需要が堅調に推移したことから前年同期比増となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比11.7%増の33億7千9百万円となり、営業利益は前年同期比120.1%増の4億6千6百万円となりました。

[その他事業部門]

摩擦材

一昨年以来低迷が続いていた建設機械向けの需要は、前四半期に底打ちは見えたものの力強い回復基調には至らず、前年同期並みに留まりました。一方、農業機械向けの需要は好調な北米市場に支えられ、前年同期を大きく上回る水準で推移しました。この結果、摩擦材の売上高は前年同期比6.3%増の63億7千8百万円となりました。

その他

不動産賃貸等その他の売上高は、リチウムイオン二次電池用負極材の販売が増加したことにより、前年同期比39.5%増の15億5千8百万円となりました。

以上により、当事業部門の売上高は前年同期比11.5%増の79億3千6百万円となり、営業利益は2億3千6百万円(前年同期は1億1千8百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比192億5千6百万円増の2,026億8千4百万円となりました。流動資産は、現金及び預金などの増加により、前連結会計年度末比17億3百万円増の926億8千7百万円となりました。固定資産は、Cancarb Limitedの取得によって、のれん、顧客関連資産などが計上されたことにより、前連結会計年度末比175億5千3百万円増の1,099億9千7百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比173億1千8百万円増の775億1千3百万円となりました。流動負債は、短期借入金などの増加により、前連結会計年度末比139億2千4百万円増の563億9百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債、長期借入金などの増加により、前連結会計年度末比33億9千4百万円増の212億4百万円となりました。

純資産合計は、為替換算調整勘定などの増加により、前連結会計年度末比19億3千7百万円増の1,251億7千万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比5.3ポイント減の60.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期第2四半期決算短信発表時(平成26年8月5日)に公表した業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、全株式を取得したことにより、Cancarb Limitedを連結の範囲に含めております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,048	16,751
受取手形及び売掛金	30,075	29,971
商品及び製品	14,589	15,934
仕掛品	15,666	12,786
原材料及び貯蔵品	11,251	12,806
繰延税金資産	982	1,087
その他	2,624	3,436
貸倒引当金	△253	△86
流動資産合計	90,984	92,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,548	18,045
機械装置及び運搬具(純額)	25,258	31,916
炉(純額)	1,355	1,161
土地	7,143	7,202
建設仮勘定	10,614	6,712
その他(純額)	1,064	1,052
有形固定資産合計	61,985	66,090
無形固定資産		
ソフトウェア	417	374
のれん	-	7,302
顧客関連資産	-	4,738
その他	46	1,115
無形固定資産合計	464	13,531
投資その他の資産		
投資有価証券	27,939	28,207
繰延税金資産	346	333
その他	1,764	2,027
貸倒引当金	△57	△194
投資その他の資産合計	29,994	30,375
固定資産合計	92,443	109,997
資産合計	183,427	202,684

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,704	12,848
電子記録債務	1,474	2,118
短期借入金	19,267	35,745
1年内返済予定の長期借入金	1,450	5
未払法人税等	910	357
未払消費税等	271	-
未払費用	1,350	1,433
賞与引当金	163	640
繰延税金負債	-	0
その他	4,792	3,160
流動負債合計	42,385	56,309
固定負債		
長期借入金	5,044	6,435
繰延税金負債	6,627	8,935
退職給付引当金	3,708	3,647
役員退職慰労引当金	130	120
執行役員等退職慰労引当金	34	32
環境安全対策引当金	557	441
その他	1,706	1,591
固定負債合計	17,809	21,204
負債合計	60,195	77,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,436	20,436
資本剰余金	17,502	17,502
利益剰余金	76,014	76,360
自己株式	△7,146	△7,153
株主資本合計	106,807	107,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,715	10,606
繰延ヘッジ損益	-	△0
為替換算調整勘定	3,578	5,273
その他の包括利益累計額合計	14,294	15,880
少数株主持分	2,131	2,144
純資産合計	123,232	125,170
負債純資産合計	183,427	202,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	75,029	84,713
売上原価	63,377	71,448
売上総利益	11,652	13,264
販売費及び一般管理費	10,306	10,806
営業利益	1,345	2,457
営業外収益		
受取利息	59	64
受取配当金	249	310
受取賃貸料	217	226
持分法による投資利益	241	621
為替差益	977	93
その他	382	345
営業外収益合計	2,127	1,661
営業外費用		
支払利息	496	550
その他	445	912
営業外費用合計	941	1,462
経常利益	2,530	2,656
特別利益		
段階取得に係る差益	29	-
特別利益合計	29	-
特別損失		
減損損失	86	14
特別損失合計	86	14
税金等調整前四半期純利益	2,473	2,642
法人税、住民税及び事業税	1,186	1,163
法人税等調整額	82	△126
法人税等合計	1,269	1,037
少数株主損益調整前四半期純利益	1,204	1,605
少数株主損失(△)	△107	△22
四半期純利益	1,312	1,627



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,204	1,605
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,943	△104
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	3,745	1,567
持分法適用会社に対する持分相当額	317	215
その他の包括利益合計	8,007	1,678
四半期包括利益	9,212	3,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,958	3,213
少数株主に係る四半期包括利益	253	70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	炭素・ セラミ ックス 事業	工業炉お よび関連 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	33,051	31,832	3,025	67,910	7,119	75,029	—	75,029
セグメント間の内部 売上高又は振替高	49	103	229	383	—	383	△383	—
計	33,101	31,936	3,255	68,293	7,119	75,412	△383	75,029
セグメント利益又は 損失(△)	1,496	603	212	2,312	△118	2,193	△848	1,345

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業および不動産賃貸等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△848百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△853百万円が含まれています。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「炭素・セラミックス事業」セグメントにおいて、遊休状態にあり、将来の用途が定まっていない資産および除却予定資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ったことから減損損失を計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては72百万円です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	カーボン ブラック 事業	炭素・ セラミ ックス 事業	工業炉お よび関連 製品事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	40,328	33,069	3,379	76,777	7,936	84,713	—	84,713
セグメント間の内部 売上高又は振替高	53	52	554	660	—	660	△660	—
計	40,381	33,121	3,933	77,437	7,936	85,373	△660	84,713
セグメント利益	2,257	513	466	3,237	236	3,473	△1,015	2,457

(注)1 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、摩擦材事業および不動産賃貸等を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△1,015百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△992百万円が含まれています。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費等です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。